

# OKAMURA REPORT

第84期 中間報告書 2018年4月1日 ▶ 2018年9月30日 | 証券コード：7994



**okamura**

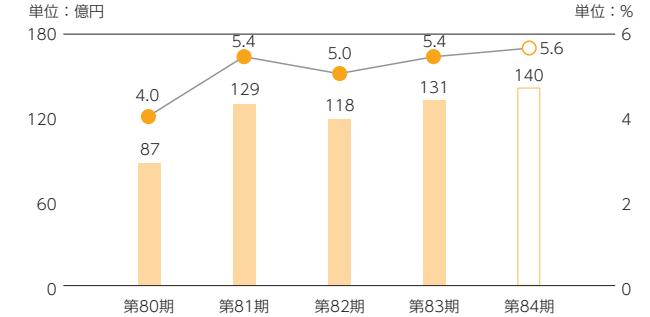
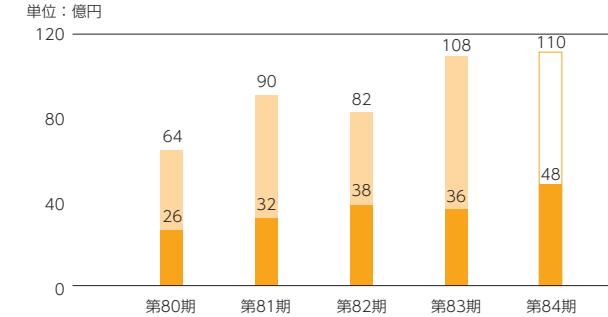
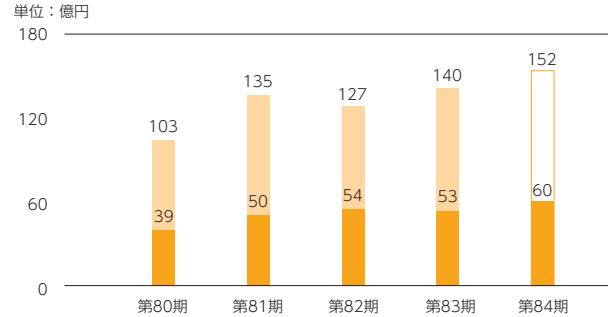
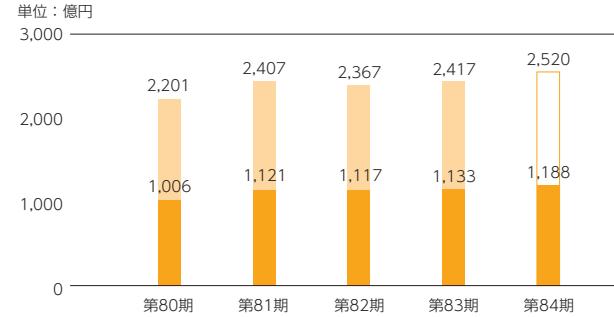
# OKAMURA At a Glance

第2四半期  
決算のポイント

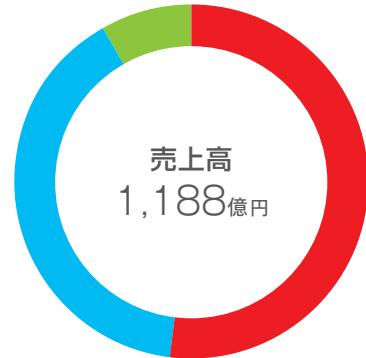
- オフィス環境事業は大型移転案件が増加。
- 物流機器事業は自動化ニーズの高まりに応え大幅に増収増益。

● 商環境事業は小売業の投資減速などあり減益。

## 決算ハイライト



## 事業別ハイライト



	売上高構成比	売上高	営業利益
■ オフィス環境事業	52.0%	617億円	37億円
■ 商環境事業	39.9%	474億円	6億円
■ その他(物流機器事業他)	8.1%	96億円	8億円

## 上半期 ニュース & トピックス

- 4月
- オフィスファニチュアシリーズ「Lives (ライブス)」ワークチェアが2018年ドイツ「レッドドットデザイン賞」(プロダクトデザイン部門)受賞 [詳細はP6へ](#)
  - 3製品がドイツの「UNIVERSAL DESIGN competition 2018」にて受賞
    - Lives (ライブス) パーソナルチェア&テーブル、Weltz-self (ウェルツセルフ)、Cradle (クレイドル)

- 5月
- 「みどりとふれあうフェスティバル」出展
  - 「自治体総合フェア2018」出展
  - 「第1回学校施設・サービス展」出展
  - 「アジア・シームレス物流フォーラム2018」出展
  - 学習家具メーカー4社合同展示会「スタディ&ホームファニチャー2019」開催

- 6月
- 「NeoCon2018」出展  
カンファレンステーブル「[traverse satellite (トラヴァース サテライト)]」が「Best of NeoCon 2018 Conference Room Furniture Gold Award」受賞 [詳細はP5へ](#)
  - 「第31回インターフェックスジャパン」出展

- 7月
- 「国際モダンホスピタルショー2018」出展
  - 「第5回働き方改革EXPO」出展
  - 「かながわしごと・技能体験フェスタ2018」出展
  - 「テレワーク・デイズ」参加

- 8月
- 待合ロビーチェア「filall(フィロル)」がキッズデザイン賞受賞

- 9月
- マレーシア現地法人設立
  - 「JASIS2018」出展
  - 「国際物流総合展2018」出展 [詳細はP6へ](#)
  - 「オカムラデザインスペースR第16回企画展」開催

コーポレートメッセージ

豊かな発想と  
確かな品質で、  
人が集う  
環境づくりを通して、  
社会に貢献する。



代表取締役社長 中村 雅行

このたび日本各地を襲った集中豪雨と台風、地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

当第2四半期の概況についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益や雇用環境が引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな拡大基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、

生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高118,837百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益5,236百万円（前年同四半期比11.4%増）、経常利益6,068百万円（前年同四半期比13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,829百万円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

事業別セグメントの概況についてお聞かせください。

▶ オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、大規模オフィスビルの安

定的な供給にともなう大型移転案件が増加するとともに、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要も堅調に推移いたしました。このような状況のもと、オフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対応した新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開したことにより、高付加価値の大口案件が増加いたしました。また、西日本を中心に病院や公共施設等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、61,751百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は、3,763百万円（前年同四半期比30.5%増）となりました。

▶ 商環境事業

商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に努めましたが、資材価格や工事費の上昇、台風等の自然災害の影響を受けた小売業の投資減速もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、47,408百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益は、656百万円（前年同四半期比61.6%減）となりました。

▶ その他（物流機器事業他）

物流機器事業につきましては、増加するネット通販を扱う物流倉庫を中心に、人手不足に対応した省人化の要望に対

し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めました。また、社内エンジニアリング体制を強化し、利益率が改善したことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,677百万円（前年同四半期比28.7%増）、セグメント利益は、816百万円（前年同四半期比7.5倍）となりました。

配当金についての基本方針

当社は、株主の皆様への適切な利益還元を経営の重要政策のひとつとして位置付けております。

利益配当政策につきましては、業績に応じた適正な利益配分を目指すとともに、財務状況、将来の事業展開及び内部留保などを総合的に勘案し、安定配当の維持にも努めてまいりたいと考えております。

■ 配当金

84期中間  
14円  
(年間28円)

単位：円  
■ 中間  
■ 期末  
□ 予想



※ 第81期期末につきましては、創立70周年記念配当4円を含みます。

TOPICS

01

## 「NeoCon2018」 出展

今年50周年を迎えた北米最大級のインテリア展示会「NeoCon (ネオコン)」。6月11日～13日の会期中、オカムラブースにも連日、感度の高いデザイン関係者やディーラーが数多く訪れました。コンセプトは昨年に引き続き「Natural Being」。新製品の「traverse satellite (トラヴァースサテライト)」をはじめ、「Lives (ライブス)」のパーソナルチェア&ワークチェア、「Alt Piazza (アルトピアッツァ)」のステップベンチなどを展示しました。



### 「traverse satellite」が「Best of NeoCon 2018 Conference Room Furniture Gold Award」受賞

「Best of NeoCon」は、「NeoCon」へ出展された製品から、優れた製品に与えられる賞です。今回、Gold Awardを受賞した「traverse satellite」は、2015年に同賞を受賞した「traverse」の薄くて美しい天板とシンプルなデザインコンセプトはそのままに、ハイテーブルやローテーブル、コンパクトな天板サイズなどのさまざまなバリエーションと、デジタルツールに対応する機能が特徴です。



TOPICS

02

## 「国際物流総合展2018」 出展



9月11日～14日の4日間、東京ビッグサイトで2年に一度開催される、アジア最大規模の物流・ロジスティクス専門展示会「国際物流総合展2018」に出展しました。テーマは「ヒトとロボットで創る『働き方改革』」。人手不足や物量増大など、さまざまな課題を抱える物流現場において、省力化・省スペース化を実現するための最新ロボットソリューションを提案しました。

TOPICS

03

## 「Lives (ライブス)」ワークチェアが「レッドドットデザイン賞」受賞

ドイツの著名なデザイン機関「ノルトライン・ヴェストファーレン・デザインセンター」が主催する「レッドドットデザイン賞」において、「Lives」ワークチェアが、そのコンセプトや機能性を評価され、2018年「レッドドットデザイン賞」(プロダクトデザイン部門)を受賞しました。オカムラは、2014年度から5年連続での同賞受賞となります。



reddot award 2018 winner



# \\ オカムラの // 働き方改革 「WiL-BE (ウィル・ビー)」

オカムラは、これまでの働き方改革に関するさまざまな取り組みを「WiL-BE (ウィル・ビー)」と総称し、代表取締役社長の中村雅行を推進リーダーとして、積極的に活動を展開しています。

「WiL-BE」は、オカムラが提唱する「ワークインライフ (Work in Life)」から名付けました。ワークインライフは、「Life (人生) にはさまざまな要素があり、その中のひとつとしてWork (仕事) がある」という考え方です。

働く環境を提案する企業として、従業員自らがそれぞれどう生きたいか、どうありたいかを自律的に計画し、働き方改革を推進することで、いきいきと働き、思い描く生活を実現し、それを各業務を通して社会へ還元していくことを目的としています。

## ● 「WiL-BE」の概要

### 1 ワークライフバランス推進委員会

多様な働き方が選択できるよう時間管理制度の徹底、時間外労働の削減・有給休暇の取得率向上を目指します。

### 2 業務改革

業務上の「迷う・わからない」の低減、「どこでもワーク」の実現、生産性向上を業務の効率改善施策から実現していきます。

### 3 働き方カエル！プロジェクト

「行動を変える、意識を変える、会社を変える、そして早く帰る！」業務改善・意識改革を一つひとつの職場から実現し、全社へと展開していきます。

### 4 ソダテルプロジェクト

「意識を育てる、組織を育てる、人(キャリア)を育てる、風土を育てる」ダイバーシティ&インクルージョンを推進していきます。

### 5 Bootcamp

知見・体験を学び、働き方改革を実践・発信できる人材を育成。働き方改革をデザインし、サービスに生かしていきます。

### 6 健康経営推進委員会

安全衛生活動を実践し、健康維持・推進に取り組みます。健康面から組織の活性化・モチベーション向上を目指します。

## 事業別セグメントの概況 | Performance Results by Segment

### 財務ハイライト (連結)

#### 売上高

1,188億円 (前年同四半期比 4.9%増)

#### 経常利益

60億円 (前年同四半期比 13.8%増)

#### 親会社株主に帰属する四半期純利益

48億円 (前年同四半期比 32.5%増)

### オフィス環境事業

Office Furniture



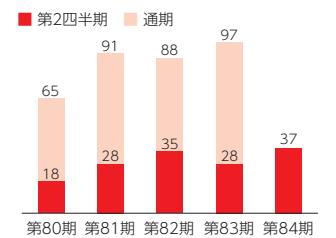
#### 売上高

単位：億円



#### 営業利益

単位：億円



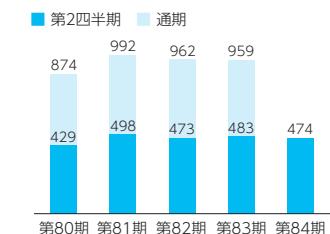
### 商環境事業

Store Displays



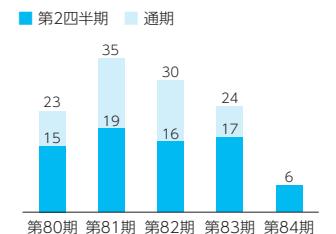
#### 売上高

単位：億円



#### 営業利益

単位：億円



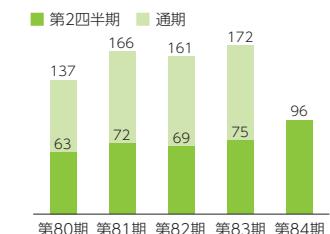
### その他 (物流機器事業他)

Material Handling Systems and Others



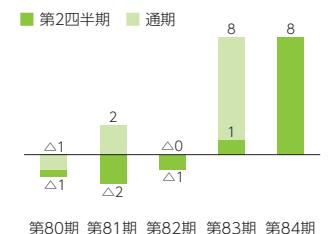
#### 売上高

単位：億円



#### 営業利益

単位：億円



## 株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	112,391,530株
株主数	5,157名

## 所有者別株式分布状況



## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	10,961	9.94
三菱商事株式会社	6,300	5.71
オカムラグループ従業員持株会	5,897	5.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,616	5.09
明治安田生命保険相互会社	5,437	4.93
新日鐵住金株式会社	5,313	4.82
株式会社三菱UFJ銀行	4,805	4.36
三井住友海上火災保険株式会社	4,236	3.84
株式会社横浜銀行	4,076	3.69
オカムラ協会持株会	3,557	3.22

(注) 持株比率は、自己株式(2,066,571株)を控除して計算しております。

## 会社概要

設立	1946年7月
資本金	186億円
登記上本社	横浜市西区北幸二丁目7番18号
本社事務所	横浜市西区北幸一丁目4番1号
従業員数	3,420名

## 取締役及び監査役

地位	氏名	担当または主な職業
代表取締役社長	中村 雅行	
専務取締役	佐藤 潔	管理本部長
専務取締役	菊池 繁治	オフィス営業本部長
専務取締役	土志田 貞一	企画本部長
常務取締役	岩田 寿一	ヘルスケア事業本部長
常務取締役	山本文雄	商環境事業本部長
常務取締役	山木 健一	生産本部長
取締役(社外)	田中 格知	三菱商事(株)常務執行役員金属グループCEO
取締役(社外)	浅野 広視	
取締役(社外)	伊藤 裕慶	(株)キーストーン・パートナーズ 社外監査役
取締役	小熊 誠次	デザイン本部長
取締役	金子 肇	海外営業本部長
取締役	井上 健	商環境事業本部東日本営業本部長
取締役	田尻 誠	物流システム事業本部長
取締役	牧野 博	テレコム営業本部長
取締役	酒徳 真司	商環境事業本部西日本営業本部長
取締役	河野 直木	オフィス営業本部首都圏営業本部長
取締役	荒川 和巳	マーケティング本部長
監査役	守分 宣	
監査役	荒谷 克典	
監査役(社外)	鈴木 祐一	弁護士
監査役(社外)	岩本 繁	公認会計士

## 工場施設

追浜事業所 (神奈川県横須賀市)	つくば事業所 (茨城県つくば市)	高島事業所 (山形県東置賜郡高島町)
富士事業所 (静岡県御殿場市)	御殿場事業所 (静岡県御殿場市)	中井事業所 (神奈川県足柄上郡中井町)
(株)関西オカムラ (大阪府東大阪市)	(株)山陽オカムラ (岡山県高梁市)	(株)エヌエスオカムラ (岩手県釜石市)
鶴見事業所/シーダー(株) (神奈川県横浜市鶴見区)	(株)富士精工本社 (石川県能美市)	Siam Okamura Steel Co., Ltd. (Bangyaparak, Phrapradaeng, Samutprakarn, Thailand)
砂畑産業(株) (東京都足立区)	杭州岡村伝動有限公司 (中国浙江省杭州市)	東莞誠美家具有限公司 (中国広東省東莞市)

## 関係会社

(株)関西オカムラ	(株)オカムラ ビジネス サポート
(株)オカムラ物流	砂畑産業(株)
(株)オカムラ サポート アンド サービス	Okamura International (Singapore) Pte., Ltd.
(株)エヌエスオカムラ	上海岡村家具物流設備有限公司
(株)山陽オカムラ	Salotto (China) Limited
(株)エフエム・ソリューション	Siam Okamura Steel Co., Ltd.
(株)ヒル・インターナショナル	Siam Okamura International Co., Ltd.
シーダー(株)	杭州岡村伝動有限公司
(株)富士精工本社	PT. Okamura Chitose Indonesia
セック(株)	
(株)Td Japan	
	(他15社 合計35社)

## 主なショールーム・博物館

オカムラ ガーデンコートショールーム	(東京都千代田区紀尾井町)
オカムラ 仙台ショールーム	(仙台市青葉区花京院)
オカムラ 名古屋ショールーム	(名古屋市中村区名駅)
オカムラ 大阪ショールーム	(大阪市北区大深町)
オカムラ 福岡ショールーム	(福岡市博多区博多駅前)
オカムラVitra店舗用什器ショールーム	(東京都千代田区内神田)
オカムラいすの博物館	(東京都千代田区永田町)

▶ インターネットでオカムラの最新情報をご覧ください。

オカムラウェブサイト <http://www.okamura.co.jp/>

オカムラ

検索

## 株主メモ

### 決算期

3月31日

### 定時株主総会

6月下旬

### 基準日

3月31日

### 公告掲載新聞

日本経済新聞

### 株主名簿管理人/特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

東京都府中市日鋼町1-1

☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

郵送先 〒137-8081

新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### (ご注意)

株式に関する手続きのお届出先・ご照会先について

○ 証券会社に口座を開設されている株主様は、口座を開設された証券会社等にお問合せください。

○ 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記、特別口座の口座管理機関の連絡先にお問合せください。

○ 中間配当に関する取締役会決議のお知らせにつきましては、昨年まで株主の皆様は「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りすることにより行ってまいりましたが、本年より同はがきの郵送を廃止させていただきます。

今後は、同はがきに替えて当社ウェブサイト (<http://www.okamura.co.jp/>) への掲載にてご案内させていただきますので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

## CASE STUDY

# 働き方改革を実践する「ラボオフィス」

オカムラは、社内外との連携を強め、新たな働き方や環境を実験・検証する場として、首都圏に4か所、ラボオフィスを展開しています。それぞれ「CO-Do LABO」「CO-RiZ LABO」「CO-SO LABO」「KEN-CO LABO」と名付け、異なるコンセプトに基づいて、従業員自らが働き方改革に取り組んでいます。

各ラボオフィスに共通するのは、Activity Based Working (ABW) を実践していること。ABWとは、仕事の内容や目的に合わせて、作業する場を従業員自らが主体的に選択する働き方のことです。そのために、各ラボオフィスには、執務スペースから集中スペース、協業するスペース、1on1スペース、カフェスペースなど、多様なスペースが設けられています。

ラボオフィスで実験・検証した結果は、社内の働き方改革に活用するとともに、お客様への提案にも生かしていきます。

他に仙台、名古屋、大阪、福岡にもラボオフィスを設けています。

## 首都圏のラボオフィス



### 「CO-Do LABO」

一人ひとりが主体的に物事を考え、行動する。社内外の人とつながり、ともに「考動」するための場。



### 「CO-RiZ LABO」

効率よく働くためのアクションを起こす。スマートな業務を実行するための場。



### 「CO-SO LABO」

感性を刺激し、斬新なアイデアを創造する。新しい付加価値を生み出すための場。



### 「KEN-CO LABO」

心身ともに健康で、生き生きと仕事に取り組む。ウェルビーイングな働き方を促進するための場。

人を想い、場を創る。  
**OKAMURA**

株式会社オカムラ  
〒220-0004  
横浜市西区北幸二丁目7番18号  
TEL : 045-319-3401 (代)

